

松梅校道徳通信

令和7年10月28日

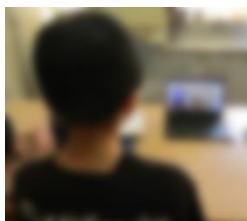
文責：神武

10月は「相互理解・寛容」について考えました

今年度4回目の研究授業が10月15日（水）に行われました。今回のテーマは「相互理解・寛容」です。小学5年生（いきいき2）と中学2年生で、それぞれの学年に応じた教材で取り組みました。ぜひご家庭でもお子さんと今回のテーマについて話し合ってみてください。

小学5年生いきいき2「広い心ってどんな心だろう？」

サーカスをまとめるリーダーのピエロと花形スターのサムは、一時間という制限で大王にサーカスの演技を見てもらうことになった。日頃から、ピエロはわがままな言動のサムに腹を立てていた。当日、サムの演技が延長し、ピエロは大王の前で演技ができなかった。しかし、ピエロは演技後に疲れ切った様子のサムを何度も思い出しながら、サムの気持ちを理解し、尊重したため、サムを許した。児童には、身勝手な言動を理解し、受け入れるピエロの気持ちを考えさせることで、よりよい人間関係を気づくための心の在り方について考えさせた。



児童の意見

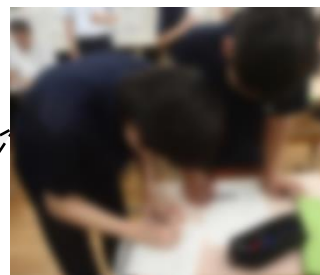
「広い心とは、相手の気持ちも大切にすることだと、気づきました。」



中学2年生「人間関係をつくるうえで大切にしたいこと」

教材『注文をまちがえる料理店』は、認知症の方がスタッフとして働く実際のレストランの取り組みを題材としている。注文を間違えることがあるという前提のもと、客がその間違いを受け入れ、楽しむことで、認知症への理解や多様性の尊重、寛容な心を育むことを目的としている。筆者が「間違えることはつらいこと」という言葉に胸を突かれたように、間違いの背景にある苦しさや不安に目を向けることで、他者の立場に寄り添う姿勢が育まれる。また、認知症の方のピアノ演奏に対して会場から大きな拍手が送られた場面からは、一方的に支援するのではなく、相手からも感動を受け取る関係性、つまり対等な立場での相互理解の重要性に気づくことができた。

生徒の意見・「認知症のスタッフの方が、一生懸命働かれている姿に感動したし、それを受け入れて笑顔のお客さんにすごいなあと思った。」



アンケートにご協力ください

前回の道徳通信から、ご家庭で道徳について話されているかどうかを調べるため、アンケートを実施することにしました。1～2分程度で完了しますので、ぜひアンケートにご協力ください。

次回の研究授業は11月12日（水）。「希望と勇気、努力・克己と強い意志」をテーマに小学1年生、中学1年生、中学3年生で授業が行われます。

道徳通信アンケート

